

笠利埼灯台60周年ラジオ工作教室 ～奄美の皆様へ感謝を込めて～



令和4年10月9日
奄美海上保安部



奄美大島最北端の海のみちしるべ笠利埼灯台は、今年で60周年を迎えました。これは、奄美の皆様これまでの海上保安業務へのご理解とご協力の賜物と、感謝を込めて、10月9日ラジオ工作教室を開催、奄美の小学生31名と保護者が参加しました。

ラジオ工作で、海上保安業務でも使われる電波への興味をきっかけに、海上保安庁を少しでも知って関心を持って、将来大きくなったら、故郷、奄美のきれいな海を守る海上保安官になってもらえたら、私達はとても幸せです。

工作教室は、日本航路標識協会や日本無線(株)のボランティアスタッフと海上保安部職員のサポートで行いました。

「電波とは何？」の解説、そして、ゴーグルや半田ゴテなどの安全具や工具の使い方の説明を行いました。

いよいよ工作開始、子供達がラジオキットの箱を開くと、「ホントに作れるの?」「え～難しそう!」の声が上がりました。アンテナのコイル巻きや部品の取付けを始めると、一転、工作教室は真剣な雰囲気になりました。

完成して、ラジオから音が聞こえると、満面の笑み、イヤホンに耳をあて、地元のFM放送などを夢中で聞き入りました。奄美海上保安部は、地域の皆様との絆を大切に、安全安心に努めます。

日本航路標識協会と日本無線(株)のボランティアスタッフの皆様の協力に深く感謝いたします。



海上保安部長挨拶



工作に夢中の小学生



完成したラジオ



子供以上に懸命に工作する記者



ラジオの音が聞こえて親子で笑顔



ラジオが完成し満面の笑み(午前の部)



ラジオが完成し満面の笑み(午後の部)